

# 岐阜県

# 岐阜県退職校長会

結成 昭和41年

会員の連帯感を深め、共同歩調で生きることを願って設立する。

**【目的】** ①会員相互の親睦を図る。②関係団体と協力して会員の福祉の増進に努める。

③現職校長会及び他の教育団体と連携し、中立健全な教育の伸展を図る。

**【会員】** 2,150名（うち名誉会員139名）

入会は退職時。終身会員。

**【支部・ブロック】** 24支部・6ブロック

□県本部は、各支部活動の交流の場を設定し、

支部の充実・発展を援助する。

□支部活動の内容 ○支部総会 ○小旅行

○文集発行 ○作品展 ○教育支援活動

○調査・研究 ○趣味を生かした活動



平成26年度岐阜県退職校長会総会

**【特色ある本部の事業】**

## 1. 機関誌「彩雲」の発行

昭和41年（1966）から、年4回発行をしてきた。機関誌の誌名は、唐の詩人、李商隱の詩句の一部分『夕陽無限好 唯是近黄昏』から、「彩雲」と名付けられた。美しく彩られた夕焼け雲こそ、私たち仲間の望ましい晩年を象徴するものである。140号からは年3回発行。読み易く、A4判12頁、カラー4頁の美しい機関誌として本年1月で177号。

## 2. 機関誌「彩雲」の編集と配布

役員である理事6名のうち4名が編集委員で、本部の運営に関わりつつ、機関誌発行に携わっている。役員の巻頭言、本会の主要行事、他の関係団体の情報を掲載するとともに、会員や支部の活動を伝えたり、80歳以上の人の生き様を取材した「先達」や79歳までの人の生き様を「燃焼」コーナーに毎号掲載する。シリーズものとして会員の生き方の指標になっており好評を博している。

支部や会員の動向を本部の編集委員が情報を収集し、特に県内24地区には、編集協力委員が1名ずつ置かれていて、原稿依頼の任に当たっている。巻頭の写真、随想、紙上サロンの詩歌・絵・書・写真、ふるさと紹介、会員の声等の原稿を、所属する支部の中で依頼し、本部と連携を取りながら編集に協力し、「彩雲」の屋台骨を支えている。

機関誌『彩雲』は、各地区配布担当者に郵送し、会員に届けられる。

## 3. 彩雲文庫

岐阜県退職校長会創立35周年を記念して、平成13年（2001）「彩雲文庫」を開設した。集庫する図書は退職教職員の編著によるもので、〈岐阜県教育の生きた証〉として永く保存し、広く公開をして教育の進展に寄与したいと考えて設立をした。現在487冊の図書が公立学校共済組合ホテルの2階ロビーに置かれ、閲覧、貸し出しをしている。